

事業番号	078
------	-----

平成25年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	産業活性化事業				担当部	市民産業部				
	会計区分	一般会計		事業類型	一般	担当課	商工観光課				
	事業期間	平成12年度以前		～	平成30年度以降		担当係	商工労政係			
	総合計画 分野別計画	主目的	6 産業振興		29 商工業		3 既存商工業の近代化・高度化を推進する				
		副目的									
	予算区分	款	7	項	1	目	2	大	2	中	1
	根拠法令・個別計画	中小企業相談所運営費補助金交付要綱、産業活性化事業費補助金交付要綱、中小企業設備近代化助成金交付要綱、小牧市中小企業ISO認証取得支援助成金交付要綱、小牧市中小企業エコアクション21認証登録支援助成金交付要綱									
	目的 (対象をどのような状態にするのか)	市内企業と市民の交流を促進し、地域産業の活性化を図ると共に、中小企業者の育成と健全な発展を図る。中小企業者の経営支援及び技術改善により小牧市商工業全体の振興に寄与する。									
	内容 (手段)	<p>◆24年度実施内容</p> <p>○中小企業相談所運営費補助金 中小企業者育成及び経営指導等を実施している小牧商工会議所内の中小企業相談所の運営費を補助した。 15,000千円</p> <p>○中小企業設備近代化助成金 市内中小企業者の近代化及び合理化に必要な設備の導入を促進するため、償却資産の新規取得に対して助成をした。 21,355千円</p> <p>○ISO認証取得助成金 中小企業の良い品質管理及び環境に配慮した経営体制を構築し、産業の振興に寄与する目的で、ISOの認証取得をした市内企業に対し、審査登録に要した費用の1/2以内で助成をした。 1,040千円</p> <p>○産業活性化事業 市内企業の情報を大学・高校等に提供し、紹介、宣伝するとともに、各企業のPR及び地域との連携を図るための産業フェスタを開催した。平成23年度より春日井市・春日井商工会議所・小牧商工会議所と共催で、「合同説明会」「人事担当者向け講習会」「教育機関就職担当者と企業との懇談会」の3事業を実施した。 11,000千円</p> <p>◆24年度その他直接経費の内訳 普通旅費(8千円)、特別旅費(32千円)、消耗品費(18千円)、中小企業団体中央会負担金(15千円)、エコアクション21認証取得助成金(298千円)ー平成23年度事業開始</p> <p>◆25年度直接経費の内訳 普通旅費(29千円)、消耗品費(112千円)、印刷製本費(149千円)、通信運搬費(170千円)、中小企業団体中央会負担金(15千円)、エコアクション21認証取得助成金(750千円)、中小企業相談所運営費補助金(15,000千円)、中小企業設備近代化助成金(25,000千円)、ISO認証取得助成金(1,600千円)、産業活性化事業補助金(11,000千円)、ISO認証更新助成金(7,500千円)</p>									
	受益者負担	無									

		単位	H22決算額	H23決算額	H24決算額	H25予算額		
コスト	費用	直接経費	千円	46,922	50,249	48,766	61,325	
		正職員	従事者数	人	0.10	0.13	0.15	0.20
			人件費	千円	533	692	799	1,066
		その他職員	従事者数	人	0.00	0.00	0.00	0.00
			人件費	千円	0	0	0	0
	費用合計	千円	47,455	50,941	49,565	62,391		
対前年比	%			107.3	97.2	125.8		
財源	一般財源	千円	47,455	50,941	49,565	62,391		
	国・県支出金	千円	0	0	0	0		
	その他財源	千円	0	0	0	0		

業	活動指標名	単位		H22	H23	H24	H25
	業	中小企業設備近代化助成金申請件数	件	目標	—	—	—
実績				58	68	70	—
業	ISO認証取得助成金額	千円	目標	7,600	2,500	2,000	1,600
			実績	1,181	467	1,039	—
業	エコアクション21認証取得助成申請件数	件	目標	—	—	10	5
			実績	—	1	3	—
績	成果指標名	単位		H22	H23	H24	H25
	中小企業設備近代化助成金申請企業償却資産取得額	千円	目標	—	—	—	—
実績			2,139,184	2,424,609	2,135,698	—	
績	ISO認証取得助成申請件数	件	目標	20	10	5	4
			実績	3	2	4	—

事業の自己評価	平成24年度の実施結果	事業の達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ・中小企業設備近代化助成金については、企業の設備投資について若干の回復傾向が見られることもあり件数は増加傾向にある。 ・ISO認証取得助成件数は、平成24年度は4件の助成を行ったが、目標件数には至らなかった。 				
	事業実施における課題		<ul style="list-style-type: none"> ・ISOの取得助成については平成12年度から開始し、192件の助成を行っているが、平成16年度をピークに減少傾向にあり、近年では申請件数も少ない状況である。 ・更新費用の負担から、更新を行わない企業も見受けられることから、更新時の助成について検討をする必要がある。(平成25年度予算措置) ・環境省ガイドラインエコアクション21の認証取得助成については、愛知県を含め制度の周知に努めているが、制度活用の広がりが見られない。 				
	事業を縮小・廃止したときの影響		<ul style="list-style-type: none"> ・現在の中小企業を取り巻く経済情勢は厳しく、中小企業の取組みに対する負担を軽減する補助制度及び支援体制は必要である。 事業を廃止しては、地域経済の停滞につながる事が考えられる。 				
	平成25年度の改善内容	25年度における事業の改善・見直し内容(新規追加事項、廃止・削減事項等)	<ul style="list-style-type: none"> ・ISOの更新審査費用に対する助成を平成25年度より実施する。 				
平成26年度の事業の方向性	方向性の判定	拡大		対象の拡大や手段の充実等により、事業のボリュームを拡大すべきもの			
	判定理由	<ul style="list-style-type: none"> ・現在の中小企業を取り巻く厳しい経済情勢の中で、中小企業の取組みに対する負担を軽減し、中小企業の健全な発展を支援する補助制度及び支援体制の拡大は必要である。 					
	26年度以降の改善案	<ul style="list-style-type: none"> ・市内中小企業者の経営の安定や新たな事業展開に必要な支援について、現在策定中の産業振興基本計画において検討し、支援体制や補助制度の強化・充実を図る。 					

二次評価	方向性の判定	判定理由
	維持	<p>多くの中小企業が立地する本市において、本事業は必要な事業と判断できるが、現状では市からの助成金の効果が見えにくい状況となっている。中小企業を含め、企業活動は、経済情勢などに左右されることが多く、市の助成金単独の成果を正しく把握することは困難ではあるが、多額の経費を投入している以上可能な限り事業の成果や課題を把握、検証し、常に効果的な助成に心がける必要がある。</p> <p>特に、ISO認証取得助成件数、エコアクション21認証取得助成件数については、実績数も極めて少なく、25年度から実施しているISO認証更新助成も含め、今後、改めて必要性や効果の検証を行う必要がある。</p> <p>また、本事業は、全て助成を行う事業であるが、市が主体的に実施する事業についても検討する必要がある。</p> <p>なお、現在、産業振興基本計画を関係団体等と協議をしながら策定作業中ではあるものの、具体的な支援体制や補助制度等が明確になっていないことから現状では維持と判断する。</p>